

新八福神～8つの町（地区）と共に生きる～

本校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成」

佐世保市立宮中学校 学校通信

第3号（令和4年5月31日発行）

発行責任者 熊本 直樹



「いのちを見つめる強調月間」スタート！

私は、2005年に西海市から佐世保市内の学校に戻ってきました。その前年の6月1日に市内小学校において、大きな事件が起きました。加害児童が小学校5年生までミニバスケットボールをやっており、私が赴任した中学校が隣接校であったため、私が顧問する女子バスケットボール部員の中には、加害児童を良く知る生徒もおりました。当時の校長先生から「その事件の話題は出さないように」との職員への指導があり、私たち教員は、同年代の生徒たちが卒業するまで、直接その事件ことには触れないようにしていました。その生徒たちも在校中に一度もその話題を口にしませんでした。

時は流れ、現在の中学生は事件のことを知りません。先生たちでさえ、年齢が若い人たちはほとんど知らないでしょう。私たちは尊い犠牲を払い、「いのち」の重みを学んだのです。しかし、反省すべきは、そんな大きな犠牲を生まなければ学べなかったという教育力の弱さです。あれから十八年、教育力をつけるために、佐世保市の教職員は一丸となって取り組んできました。残念ながら高校生による事件がありました。私は佐世保市の教員として、この「いのちを見つめる強調月間」という取組を誇りに思っています。全国的にもほぼ例がないこの取組、自分自身がしっかりやり遂げると同時に、次の世代へと引き継いでいきたいと思っています。（月間内の取組および公開週間の案内は別配布の資料をご覧ください）

※西本眞也佐世保市教育長のコメントが裏面にあります。ご一読ください。

生徒総会が実施されました。

5月27日（金）に「生徒総会」が実施されました。スローガンは“Just do it～みんなが主役～”。「生徒自身で作りあげる総会」という裏目標もあったようです。多くの生徒から意見が積極的に出され、とても有意義な総会となりました。生徒会役員や議長の皆さん、そして参加した生徒のみなさん、まさに“みんなが主役”のすばらしい総会でした。



答弁する
生徒会役員↓

議事を整理する
議長の二人↑



うつの宮姫のツイート日記

※プライバシー保護の観点より、写真等の掲載については遠景のもの等を選択しております。

明日は健診で、今晚はご飯が全然食べられない悲しい私…。まあ、そんなことはいいとして、長崎県の新規の感染症罹患患者数がこのところガクンと下がったわね。佐世保市も急激に減少しているわ。ゴールデンウィークの影響から抜け出した結果だろうと学者がコメントしてた。要するに不特定多数の中に入り混じり、叫ぶの、歌うのといった活動やイベントに参加するようなことをしない限り、感染症が爆発的に拡がることはないということね。でも人は休みがたくさんもらえると、そういうのに行きたくなるのが心情よね。しかしここが我慢のしどころ、このまま数を少なくして、0にまで持ち込みましょう。それには町民、市民、県民全部の意識と協力が必要よ。いつかきっと普通のことが普通に何でもできる日々が来るのだから。アメリカのある有名歌手のことばに、こんなのがある。「If you want the rainbow, you gotta put up with the rain.」（虹を見たいなら、ちょっとやそっとの雨はがまんしなくちゃ）。